

関内駅周辺地区のまちづくり

1 上位計画における関内・関外地区の位置づけ

《上位計画》

(1) 環境未来都市計画

(目指すべき将来像)

- ・2050年「都市の世紀」をリードする横浜の先進性と突破力
- ・安心して高品質な生活基盤が支える幸せな市民生活
- ・成長産業と文化芸術空間が広げる人・都市の交流
- ・多彩な地域の魅力の「つながり」がつくる横浜の創造力
- ・安心と活力の好循環による相乗効果の創出
- ・個性と能力を発揮できる柔軟な人生設計が可能なまち
- ・開港の歴史と経験が礎となった環境未来都市としての姿勢

(2) 関内・関外地区活性化推進計画

〈目指すべきまちの将来像 (4つの基本方針)〉

① OLD & NEW

開国・開港150年の歴史の蓄積を活かしつつ、今後の発展の基礎となる新たな都心の構造を創り、これらが連携した市民が愛着と誇りを持てる OLD & NEW 都心を創る。

② 都市活力創造都心

「ビジネスチャンスが生まれる街、起業の街」という開港以来の街の遺伝子を大切に、関内・関外で暮らし、働き、学び、想像し、楽しむなど、横浜の活力の原動力となる多彩で魅力的な機能がコンパクトに複合した、魅力溢れる都心を創る。

③ 快適環境都心

港・河川・内水面や公園・街路などの公共空間や公共・民間施設などにおける水と緑の豊かな環境の形成や地球温暖化への対応等を進めるとともに、防災・防犯など誰もが安全・安心に過ごすことのできる、調和のとれた都心を創る。

④ 協働・共創都心

官民、産官学の多様な主体が協働・共創する場をつくり、業務・商業の活性化。各エリアの特性を活かした街並み形成、従業者・居住者・来街者などの様々な活動のサポート、まちの魅力の発信などを行うエリアマネジメントを推進することで、持続的で活力のある都心を創る。

(3) 都心臨海部再生マスタープラン(仮称)

横浜都心部(横浜駅周辺地区、みなとみらい21地区、関内・関外地区、山下ふ頭周辺地区、東神奈川臨海部周辺地区)において、それぞれの地区の魅力を最大限活かした計画として、中長期を見据えたマスタープランづくりを進めています。(平成26年度策定予定)



横浜の成長力となり、時代の変革をリードする都心部として、関内・関外地区が各地区と連携・役割分担をして、横浜都心部全体の活性化に資するまちづくりを展開する。

2 上位計画・現状をふまえた関内・関外地区のまちづくりの方向性

| 関内・関外地区の強み・特色 | 将来のまちづくりの方向性 |
|---|---|
| <p>開港以来の歴史、観光資源、スポーツや文化芸術のイベント等の都市を楽しむことのできるコンテンツがコンパクトにまとまった都市環境である。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術、スポーツ、エンターテインメント機能の導入・強化、文化芸術創造都市の推進により、横浜独自の都市文化のさらなる充実を図る。 ●公園などの公共空間の有効活用を行うための環境整備を進める。 |
| <p>常に新しいことを発信し、創造的な人・企業が集まる「みなとまち」としてのブランド力がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●創造的な人・企業を育て、集める。 (大学などの教育施設・企業等の誘致) ●創業地区、創造都市の中心地としてビジネスチャンスのあるまちにする。 ●「みなとまち」を感じられる都市環境の整備をさらに進める。 |
| <p>地区内と地区周辺の居住人口が多いため(中・西・南区:44.5万人)、商品やサービスを購入する人を多く抱える都心部としてのポテンシャルがある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●居住エリアへの近接性を活かした企業の誘致を行う。 ●居住環境の向上を図り、都心生活を満喫できる魅力的なまちを目指す。 |
| <p>活発な地域コミュニティと市民文化の基盤があり、居住者・来街者層に多様性・多文化性を持つ。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●都心部の地区間交流を活性化し、来街者の回遊性を高めるための都心交通体系を検討する。 ●地域コミュニティの力を活かしたまちづくりを進める。 ●多文化共生のまちとしての魅力を活かしたまちづくりを進める。 |

3 関内駅周辺地区のまちづくりの考え方

(1) 関内駅周辺地区のまちづくり戦略

● 文化芸術、スポーツ、エンターテインメントの拠点を整備し、都市のブランド力を強化する。

・関内・関外地区の核となる文化芸術、スポーツ、エンターテインメントの拠点施設を整備し、休日の来街者の増加につなげるとともに、関連産業の周辺への立地を推進する。

● 関内・関外地区の独自性を打ち出す人・企業を集め・育てる。

・大学などの教育施設や独創的なグローバル企業、世界的な研究者やトップアスリート、トップデザイナーなどを誘致、育成することにより、地区の個性を強化する。

● 関内・関外地区の強みを活かした、都心部の産業強化を図るための拠点を整備する。

・成長産業の拠点施設(オフィス、研究開発、マーケティング施設など)の整備、ベンチャー支援、異分野融合、産学連携などを推進する。

● 横浜都心部の回遊性を高めるための交通拠点機能を強化する。

・横浜都心部の各地区間の回遊性向上に資する交通拠点を整備し、新たな交通手段を導入する。

● 象徴的な公共空間を整備する。

・JR関内駅の改良、JR関内駅高架下の利活用の促進
・大通り公園～くすのき広場～横浜公園～日本大通りを結ぶ「緑の軸線」の強化
・くすのき広場の象徴的空間としての再整備
・関内・関外地区の分断の解消による連絡性の強化
・規制緩和等による公共空間の利活用促進



Copyright © 2012 "Bryant Park" by Kevin Jarrett, on Flickr, Creative Commons Attribution.

(2) 関内駅周辺地区のまちづくりのテーマ

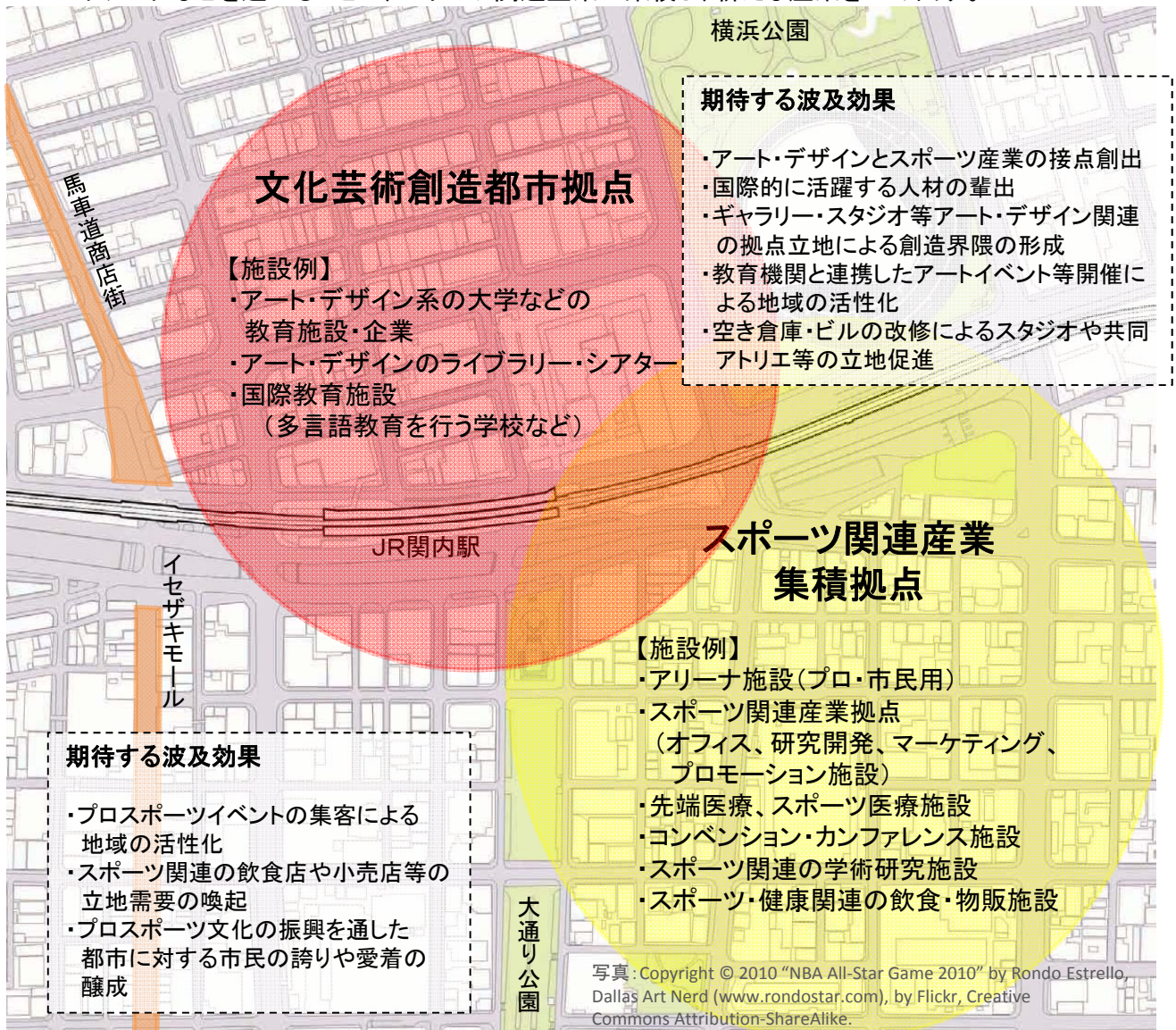
- ・「スポーツ&健康」 ⇒ スポーツ関連産業集積拠点
- ・「アート&デザイン」 ⇒ 文化芸術創造都市拠点
- ・「成長産業」 ⇒ 生活関連産業育成・集積拠点
- ・「観光・エンターテインメント」 ⇒ エンターテインメント集積拠点

【ケース①】

文化芸術創造都市拠点 + スポーツ関連産業集積拠点



- 芸術系の大学など、語学や文化等の国際教育に重点を置く教育施設を立地するなど、アート・デザインをテーマとした国際的な文教機能を集積し、創造的な人が集まり、創造的な産業が生まれる拠点をつくる。
- 集客拠点として、文化体育館機能を強化したアリーナ施設を整備し、あわせて、スポーツや健康に関する企業のオフィスや研究開発、マーケティング、プロモーション施設を整備し、スポーツ・健康産業の拠点とする。
- スポーツ医療施設やスポーツに関する学術研究機関を立地させ、様々な業種の交流・ビジネスマッチングなどを進めることで、スポーツ関連企業が集積し、新たな産業を生み出す。



※ 本ケースは検討段階のものであり、確定した計画ではありません。

【ケース②】

生活関連産業育成・集積拠点 + スポーツ関連産業集積拠点



- 地区内及び周辺に居住地が多いという立地特性を活かし、生活に関連性の深い成長産業の機能を集積し、研究開発、マーケティング、プロモーションの場などビジネスに優位な環境整備をあわせて行う。
- アート・デザイン系の大学などの教育施設をあわせて立地させることで、産業とデザイナーの連携による新たな付加価値をもった製品開発などが行われる環境をつくる。
- プロスポーツ大会を行うことができる文化体育館機能を強化したアリーナ施設を整備する。
- 市民が利用する体育館とトレーニングジムやクリニック等の複合施設をあわせて整備することで、市民の健康増進をサポートする拠点とする。



※ 本ケースは検討段階のものであり、確定した計画ではありません。

【ケース③】

エンターテインメント集積拠点 + スポーツ関連産業集積拠点



- コンサートホールなどのエンターテインメント機能を集積させる。
あわせて、エンターテイナーのための創作拠点施設、エンターテインメント関連産業（劇団、制作等）の機能を集積させることで、エンターテインメント関連産業の拠点性を作り出す。
- 横浜独自の文化芸術の創作、アジア・世界に向けての発信機能が集積する拠点とする。
- プロスポーツ大会や市民利用のための文化体育館機能を強化したアリーナ施設を整備し、スポーツの拠点とする。
- 市民の文化的活動の拠点、中小規模の国際的な会議や人材の研修、市内企業の福利厚生で利用される宿泊施設を整備することで、市民活動と企業活動の拠点とする。



※ 本ケースは検討段階のものであり、確定した計画ではありません。

4 今後の進め方

前述の「3 関内駅周辺地区のまちづくりの考え方」で示した、関内駅周辺地区のまちづくりに対する3つのケース

- ① 文化芸術創造都市拠点 + スポーツ関連産業集積拠点
- ② 生活関連産業育成・集積拠点 + スポーツ関連産業集積拠点
- ③ エンターテインメント集積拠点 + スポーツ関連産業集積拠点

を題材として、今後、地元の方々等にお示しし、ご意見・ご提案をいただきながら、さらに検討を進めます。

あわせて、新市庁舎に関する調査特別委員会にお諮りし、賑わいと活力の拠点として、魅力あふれる将来像を作成し、「新市庁舎整備基本計画」にその内容を盛り込みます。